

健康相談サービス、ご相談事例

Q. 最近、ものが見えにくい感じがするので眼科を受診しました。



・事例： とちい みのりさま（仮名）50歳からご相談

最近、ものが見えにくい感じがするので眼科を受診しました。

健診でも、「黄斑変性」の疑いがあるので、再検査するように言われましたので、良い機会だと思い受診したところ、特に続けて診察を受ける必要はないようでした。様子を見て、変わったことがあれば診察に来てください、といわれたことでホットして帰ってきたのですが、もう少し詳しく聞いておけばよかったと思うことがあって相談させていただきました。どんな病気なのか、どんなことに注意したらいいのか、怖い病気なのか、といった事が気になっています。

子供の頃、祖母から目にはビタミンAが効くとか聞いたことがあります、本当でしょうか？50歳ですが、これから出てくる症状や、原因も教えていただけますか。進行して、失明するような怖い病気なんではないでしょうか。



回答：看護師がお応えしました

最初に「黄斑変性」がどのような病気かをお話します。

失礼ですが、原因のひとつに「加齢」があります。個人差がありますが、50歳ということですので「加齢」が原因の「加齢黄斑変性」と思います。あまり馴染みの無い病名ですが、100人に一人くらいの割合で、この病気にかかり、欧米の成人では失明原因の1位に数えられています。「加齢黄斑変性」の場合、症状が出ない人もいらっしゃいますし、病気になっても失明に至らない人もいます。早く見つけて治療すれば、ある程度の視力を維持できます。健診の眼科検査は、早期発見のきっかけになりますので必ず受けるようにしましょう。この病気をわかりやすく言いますと、目をカメラに例えると網膜はフィルムの役目をしています。フィルムが古くなると、撮影に影響が出るのと同じように、加齢と共に網膜も古くなり、見えにくくなります。年齢と共に老廃物が溜まり、網膜の中心にある黄斑というところに障害がおこる病気が「加齢性黄斑変性」です。簡単に確認できる検査は、網目の記された用紙の見え方で確認します。変性が起こっていると、網目の中央が黒く見えます。治療法は状態にもよりますが、レーザーで治療できる場合もあります。加齢も原因していますので、これと言った予防は難しいのですが、心がけると良いことはいくつかありますのでご参考にしてください。多くの病気にいえますが、禁煙は重要です。また直射日光を見ないようにしましょう。食事と言いますと、緑黄色の野菜を摂ること、ミネラルを含む食品もお勧めです。

今のところ、見えにくい以外の症状もありませんし、眼科の先生からも定期的な診察の指示もありませんので、特に気になることが無ければ次の健診で検査を受ければ良いと思います。気になることがありましたら、いつでもご相談をおまちしております。